

広報



# ごよみわら

発行所  
五所川原市役所  
345号  
昭和50年2月1日  
印刷 日刊民友新聞社

市の人口 男 25,108人  
51,976人 女 26,868人

世帯数 13,703

(50年1月1日現在) 住民基本台帳から



## この悲惨 くり返しまい

「交通事故などで親を失なったお子さんを励ます会」がこのほど市民文化会館に23世帯の34人のこどもたちを招いておこなわれました。これは、市交通安全母の会(小田桐悦子会長)が町内連合会など8団体の協力で開いたもの。

この日は、昨年10月交通事故で母親を亡くした春藤まり子さん(五一中1年)が体験発表、「家族を悲惨な目にあわせる交通事故をまわから追放してください」と訴えました。また、小山教育長が励ましのことばを述べたあと、こどもたちは日頃の悩みをふき飛ばすかのように父兄といっしょに遊戯に興じていました。

荒谷係長とともに出発。すでに、除雪と歩道パトロールについては昨年十二月六日(積雪四五センチ)から連日出動してきたところであるが、その後さらに積雪が続く一月十三日県から大雪注意報が発令され、市ではこの日から、とくにパトロールを強化してきました。しかし一月十六日積雪が七十二センチに及びここに豪雪対策本部を設置、全面的な排雪出動に踏みきった。すなわちこれは五所川原方式ともいうべきもので、各町内会長さん方の指導と協力を得て除雪機械の使用不可能な巾員三・五〇センチ以下の小路等において、主としてタイヤショベルとダンブカー等により排雪を実施するものです。これには市役所各課の若手職員によって組織されている消防予備隊の諸君を一班五名でもって七班編成し、安全の確認と誘導のため紅白の手旗、呼子、腕章、ヘルメットをつけて二十日からいっせいに排雪

## 市長日記

一月二十日(水)晴  
八時半除排雪の督励のため建設課のジープで、八木橋課長補佐、

に入ったわけである。

午前中は旧市内を督励して廻ったが、この三日間で二十町内の排雪を終る予定でがんばっていた。

さらに、福土町内会長さんと岩木町の残った雪について打ち合わせをしたあと鳥森、一ツ谷、末広町、雛田についてひきつづき追加排雪することを指示した。

昼はロータリークラブのゲストによれば、「緑の自然、緑の学園、緑の都市」について卓話を申しあげ、一時半消防ジープに乗りかえ斎藤消防長、対馬署長、木村主査とともに新市域の除雪状況をみて廻った。石田坂地区の市道崩壊箇所以外ほとんど車道の巾員が確保されており安心した。

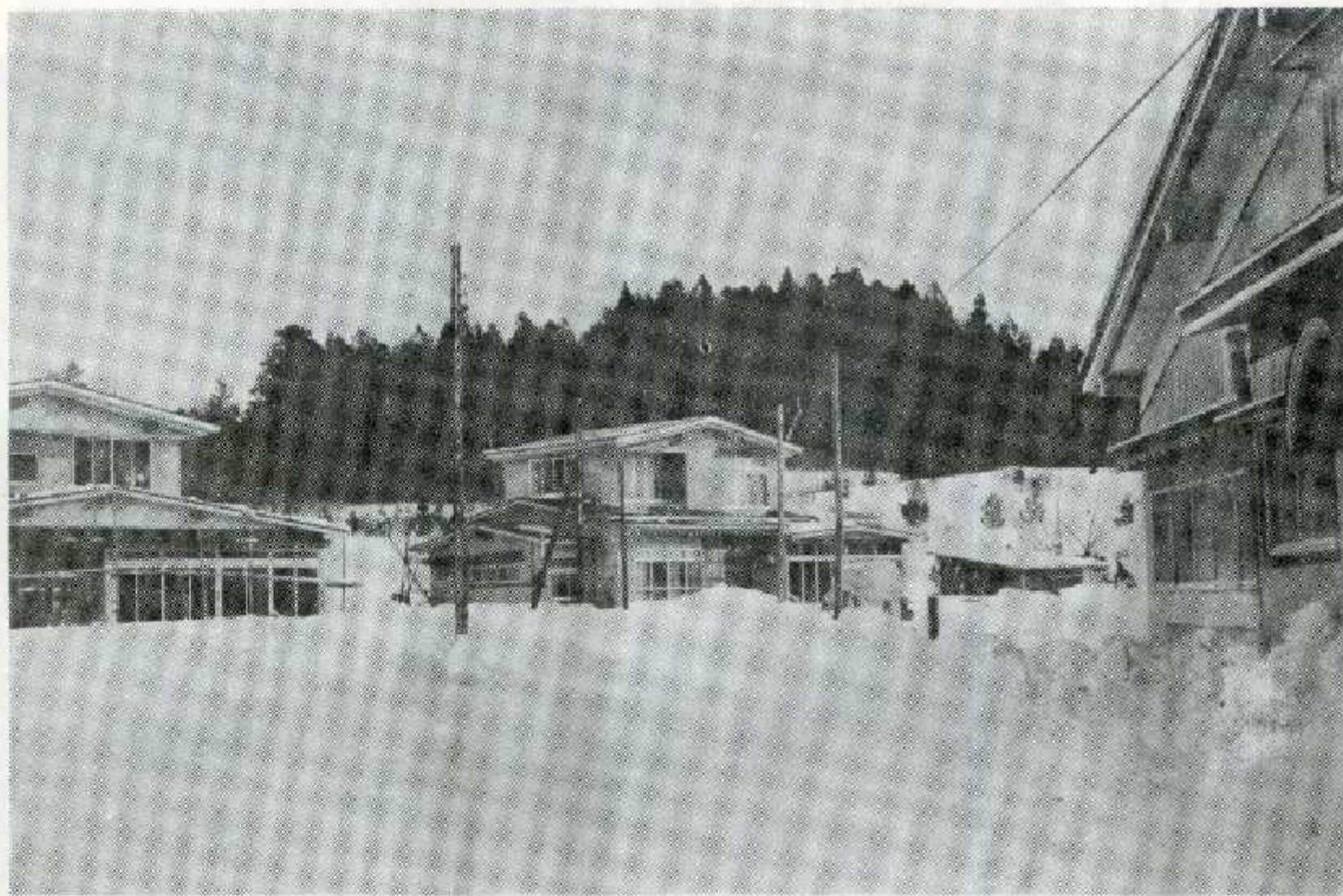
市の除雪路線の総延長は百二十二・七キロであるが、早出と残業をくりかえす市職員の方苦にあらためて感謝したい。

四時半に帰宅。その間東雲町の岩谷町内会長さんの陣頭指揮、そして岩木川原に特設のスケート場(テスト中)のそばでりんごの餅づけになれた番いの白鳥がおり印象的であった。五時から商工会議所会頭、副会頭のみなさんとともに新年度予算の打ち合わせを続行八時半帰宅

ひつこく中学あそび

# 住みなれた土地に別れ…味噌ヶ沢

## 新天地に集団移転…下岩崎



下岩崎の集団移転地・新居も完成



佐々木市長に移転完了を報告する部落民

冬期間、雪に埋もれた「陸の孤島」の生活を強いられてきた飯詰の味噌ヶ沢部落では、昨秋からすすめていた部落の集団移転をこのほど完了し、部落民が佐々木市長にお礼を述べ報告しました。

### 春から通勤耕作

味噌ヶ沢部落は、市街地から北東に九<sup>キロ</sup>、飯詰ダムに通じる五所川原―青森線

の県道から北に二<sup>キロ</sup>の山狭い部落。新田開発で拓けたと伝えられているが、集落の時期は定かでない。村には、除雪車が入ることのできない旧森林軌道の砂利道が通っているだけで、

冬期間は交通も途絶状態。毎日の買物はもちろん、学校や医者に通うこともややおとしより泣かせだった。部落には、十一戸を越えたと災害に遭うという因習があり、村の発展を阻んできた。明治四十四年四月、当時十二戸だった部落で、「やち野沢ため池」の堤防が決壊、三戸が流されたという。その昔も、十一戸を越えたとき水害に見舞われたといい、以来部落では部

落内での分家を禁止、二、三男は村を出た、といわれる。しかし、交通や生活の不便さにこりた部落民が四十七年頃から一、二戸と離村。昨年の夏には五戸だけ残り下岩崎の坂本庸一氏らの尽力もあり集団移転に踏み切った。

住宅建築資金の一部として一戸当り百万円を無利子（七年償還）で貸し付けしましたが、移転の完了した山口十四夫さんら五人が、このほど佐々木市長を訪れお礼を述べました。

### し尿の汲み取り 衛生社が地区別に

ことし一月から、し尿の汲み取りは、衛生社による地区別の割り当て制を実施しておりますのでお知らせします。

衛生社別による汲み取り地区は次のとおりです。

- △小田桐衛生社（元町、飯詰、七和地区）
- △高橋衛生社（霞ヶ台、電話⑤四三九五番）

- 三好、長橋地区
- △渡辺衛生社（未広町、電話⑤一三八八番）
- 中川、松島、毘沙門地区
- △菊地衛生社（湊、電話⑤四三九五番）
- 栄、梅田地区

なお、旧市内は四社いずれでも汲み取りに應じていることになっています。  
（市生活環境課）

市政ダイヤル  
市政についての  
行事や予定は



⑤ 4321

### 耕地事業の申請を受付

市土地改良室では、五十年間に耕地事業を希望する方の補助金交付申請書などを受け付けております。

△申請の期間 一月十日  
～二月二十八日まで

△補助の対象者  
△申請する書類  
補助金交付申請書に、①事業計画書、②収支予算書、③議事録（写）を添付してください。

△補助の対象となる事業  
農道施設事業（補修、新設、改良、護岸、橋、暗きよなど）  
かんがい施設事業（頭首工、ため池、分水工、水門掛樋、用排水の新設）

△申請 ふたり以上の共同施行、土地改良区、農業協同組合  
なお、申請用紙は当室にあります。

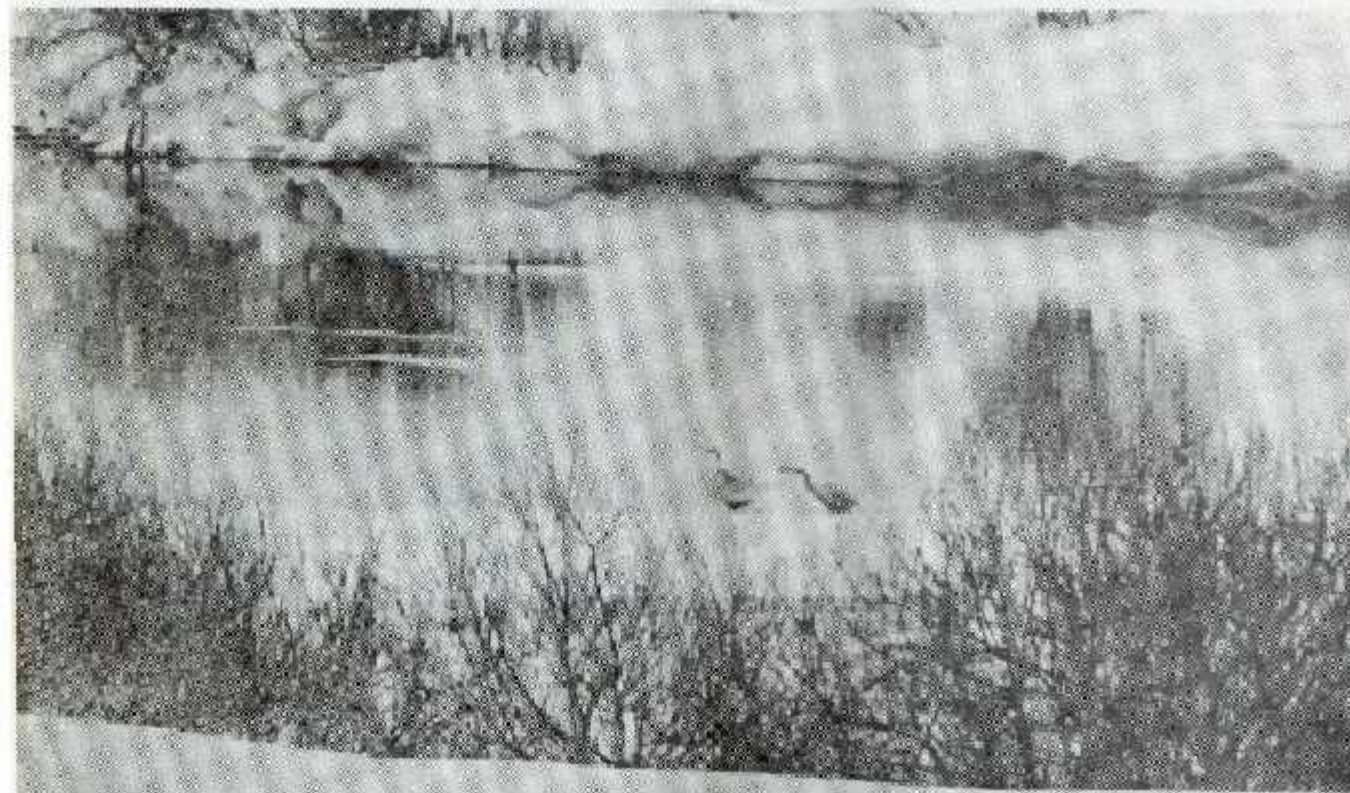


### たこ絵教室盛況

市教育委員会主催のたこ絵教室は、1月14日、市民文化会館でおこなわれ、児童、生徒100人が参加して、早朝から盛況でした。

この教室は、市教委社会教育課が、子どもたちに昔の遊具のよさと、手づくりの楽しさを知ってもらうため、木造高校職員の安田さんを講師に、絵の描き方と骨組みを教わったものです。

この教室で作られたたこは、2月9日(日)北斗グラウンドでおこなわれる、第3回雪まつりのたこあげ大会で元気よく大空に舞うことでしょう。



### ハクチョウ飛来

さる1月7日昼すぎ、市庁舎裏の岩木川原に2羽のオオハクチョウが姿をみせ、雪の川原を散策?していた。

「冬、十三湖に飛来したのが、川伝えにのぼってきたもので、上流の鶴田、藤崎、弘前でもみかけることができます」。(北農林事務所林務課の話)



### 歳末異常なし

市少年補導センターでは、学校警察連絡協議会(土岐清美会長)と少年補導

協力員連絡会(鶴谷正夫会長)と共催で、毎年、学校の春夏・冬休みの期間中街頭補導を実施していますが、今冬はとくに、佐々木市長や阿保警察署長の提案により、買物客でにぎわう12月30日に歳末特別パトロールをおこないました。

## 犯罪と事故のない 住みよいまちに

ことしも、市民のご協力により事件と事故のない住みよいまちにしたいと思えます。

### 事件の未然防止に

△自ら犯罪の被害者にならないこと

△地域から犯罪者を出さないこと

全犯罪の約八〇%強がドロボー、いわゆる窃盗事件です。ドロボーの被害にあわないためにも

一、多額の現金を家など

におかないこと

二、買物に必要以外の現金は持ち歩かない

三、外出する際には戸締りを厳重にし、近所の人に頼んで外出すること

四、自動車、自転車には必ずカギをかけてから離れること

不幸にして犯罪の被害にかかったときは、昼夜の別なく、できる限り早く警察に知らせること、できる限りそのままの状態で警察に知らせること、を確実にや

ってください。

## 50センチ積ったら

### 雪おろしを

ことしも大雪の心配がありますので、屋根の雪おろしの励行にとめ、とくに木造の住家などは、五十センチ以上の雪を屋根にのせないようにつとめること。

△道路上、

または隣家、隣地などに屋根雪が落下するおそれのあるものは、雪止めなどの防止を置き、事故や紛争などの起きないようにつとめること。また、道路上には

絶対に雪を投げ捨てないこと。

△出入り口の除雪、排雪につとめ、非常の場合に備えること。

とくに、病院、映画館、集会場、デパート、旅館、アパート、寄宿舎、養老院学校、その他の多く出入りする屋外階段、避難通路などの除雪、排雪につとめ常時機能を確保しておくこと。

△作業上の危険防止にも注意すること

### あすなる国体の

### 標語を募集

五所川原会場

応募のきまり

△資格 五所川原市民で

自作、未発表であること

応募の方法

文書による応募で、末尾

には住所、氏名、年齢、職業(学生は学校名と学年)

明記のこと。特殊な読み方の漢字にはふりがなを。

△応募の締切 二月二十

日(当日必着のこと)

△ほう賞 入選作品には

表状と記念品をさしあげま

す。

△発表 四月一日

### 生活環境

### パトロール本部

住みよい  
環境づくりに



⑤ 1414

△作品の送り先 五所川原市岩木町一二、三道会館内、第三十二回国民体育大会、「五所川原市準備委員会事務局」あて

### おしらせ



年金をお支払いする  
ためには、みなさん  
の現状を確認してお  
く必要があります。  
この確認のため、

老齢年金または通算  
老齢年金の受給者は  
二月十五日までに「

### 老齢年金の受給者は

十五日まで現況届を

届」を提出し  
ていただくこ  
とになっております。

今回、提出していただく  
方は、四十九年二月十五日  
以前から老齢年金または通  
算老齢年金をうけている方  
です。これらの方には、す  
でに社会保険庁（東京）か  
ら現況届の用紙が届いたと  
思いますので、二月十五日  
まで必ず提出してください。



国民年金の支払いは、年  
四回（通算老齢年金は二回）  
の支払い期月ごとにみな  
さんが指定した金融機関、  
または郵便局を通じ自動的  
におこなっています。  
このため、今後引き続き

この現況届を提出しない  
と、ことしの六月期以降の  
年金の支払いがうけられな  
くなることもありまますので  
注意してください。  
（市健康年金課国民年金  
係）

### 納税証明書は

### 早期に請求を

入札参加、医療費負担、  
借入申込などで納税証明書  
を必要とする方は、事務の  
混みあう二月中旬から三月  
中旬までの所得税の確定申  
告時期はできるだけ早め、  
おそくとも二月十五日まで  
に、または遅れても四月以  
降に請求されるようお願い  
します。  
（五所川原税務署）

### 赤十字社員

### 増強運動にご協力を



赤十字、危急のとき  
のいのち綱”  
昭和五十年年度の、赤十  
字社員増強運動と社資募  
集が、二月一日から一カ  
月間、県下いっせいに  
こなわれます。

市の目標額は、二百七  
十九万四千四百円ですが  
期間中町内会や部落会な  
どの協賛委員の方々がみ  
なさんの家庭を訪問しま  
すので、ご協力をお願い  
します。

### 市県民税の申告相談

50年度の市民税、県民税の申告時期（2月13日～  
3月15日）がまいりました。  
市では、みなさんに対するサービスと税の正確を  
期し申告がしやすいように各地区ごとに申告相談所  
を設けご相談に応ずることにしました。お気軽にお  
いでください。

地区	月日	曜	相談会場	時 間	対象区域
中川	2.13	水	中川支所	9.00～15.00	川山、種井、中泊、 板田、沖飯詰、 田川の方は市民 会館第1会議室 へ3月15日にお いでください。
	2.14	木	沖飯詰小学校	〃 〃	
栄	2.15	土	栄支所	9.00～15.00	稲実、姥やち、 七ツ館、広田、 漆の方は市民会 館第1会議室へ 3月10日にお いでください。
	2.17	月	〃	〃 〃	
毘沙門	2.18	火	長富集会所	9.00～15.00	長富、毘沙門
	2.19	水	毘沙門小学校	〃 〃	
三好	2.20	木	三好支所	9.00～15.00	高瀬、鶴ヶ岡、 藻川
	2.21	金	〃	〃 〃	
	2.22	土	〃	9.00～12.00	
松島	2.24	月	松島支所	9.00～15.00	水野尾、米田、 唐笠柳、漆川、 吹畑、石岡、 金山、一野坪、 太刀打、松島町、 十川町
	2.25	火	〃	〃 〃	
	2.26	水	〃	〃 〃	
飯詰	2.27	木	飯詰公民館	9.00～15.00	橋上、下岩崎、 橋下
	2.28	金	〃	〃 〃	
	3.1	土	〃	9.00～12.00	

### 特別支出金を支給

### 死傷した旧警防団員に

旧警防団令による警防団  
員であった方で、旧防空法  
の規定にもとづいて防空に  
従事し死傷した警防団員と  
その遺族（これまで特別支  
出金の支給を受けなかった  
方）に特別支出金が支給さ  
れることになりました。

支給を受けようとする  
方は、二月二十八日まで、  
必要な書類を市長、県知事  
を経由し、自治大臣に提出  
することになっております。  
該当すると思われる方は  
できるだけ早くおそくとも  
二月十日まで五所川原地区  
消防事務組合消防本部にご  
相談ください。

### 造林用苗木の

### 注文を受け付け

市農林課では、五十年  
度の春植え造林用の苗木の注  
文を受け付けております。  
△受付樹種 スギ、アカ  
マツ、クロマツ、キリ（補  
助対象）その他の樹種  
△注文締切り  
二月十五日まで

△受付け地区 梅沢、栄  
松島、毘沙門、中川、三好  
なお、その他の地区は、  
各支所にお問い合わせくだ  
さい。

### 水道料金の納入に

### 口座振替のご利用を

水道課で受け付けてお  
りますので、預金通帳と印  
鑑（通帳に使用のもの）、  
水道料金の領収書（最近の  
もの一枚）、収入印紙一枚  
（五十円）をご持参願います。  
取扱金融機関  
青森銀行五所川原支店  
青和銀行五所川原支店  
津軽信用金庫五所川原支店  
東奥信用金庫五所川原支店  
弘前相互銀行五所川原支店

犬の放し飼いはやめて  
犬を放し飼いとすると、県  
飼犬取締条例により罰金  
を受けることになります。  
保健所では、随時麻酔銃  
により野犬の捕獲をおこな  
っておりますが、命中部位  
により死亡することもあり  
ますので、絶対に犬を放さ  
ないでください。  
（五所川原保健所）